
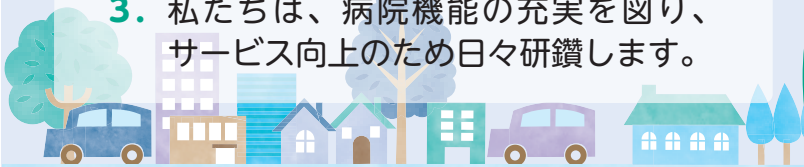


さんま通信

厚生中央病院だより 第75号 

厚生中央病院の理念

1. 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
2. 私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
3. 私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。



目次

- 新年のご挨拶 1~2
- 診療科からの新年の抱負 3~4
- 当院における糖尿病医療の取り込み 4

新年のご挨拶

病院長 河島 尚志



新年あけましておめでとうございます。新春を皆様と一緒に新しい年を迎えられたこと、大変うれしく思います。しかしながら、海外では、イスラエルやウクライナでの戦争が行われ、多くの方々の社会生活が損なわれていることを見聞き

すると、一刻も早い解決をお願いしたいと思えます。国内では、コロナが収束しつつあっても、医療を取り囲む環境は、コロナ前と同じ状況ではなく、大きな変化を求められていると感じています。真に必要な医療が追求され、ニーズに合わないものは淘汰されていくようになると思えます。

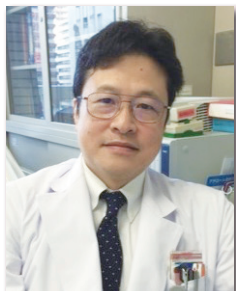
今年も、厚生中央病院は、地域の中核病院として多機能型の総合病院として役目を果たしていく所存です。昨年も、地域の多くの急性期診療に携わらせていただき、救急車の応需率で常に目黒管内一位を継続しました。また、産科病棟を陣痛室分娩室一体型（LDR 2室開設）への改修や、突発性難聴や脳梗塞などを対象とした高気圧酸素療法センター設立、泌尿器領域でのレーザー治療機器導入、形成外科の新規開設、肝胆膵消化器部門の充実などを行い、診療内容のブラッシュアップを

行いました。更に施設整備においても、5か年の大規模改修工事計画（令和元年～5年度）により、外壁・空調・衛生設備を改修し、安全性の確保、環境の改善を行うとともに、東京都災害拠点連携病院として、電気設備等を充実し、災害時における病院機能の向上を図りました。

今年の干支の辰というのは、整うという意味がある語源から来ているようで、本年度は、こういった改革をしっかりと形にすることが大事と考えています。同時に、改革を終えることなく、医科歯科連携の充実、高機能病棟（HCU）設立、乳がん専門診療充実、PFMなどの計画を進めていきます。医学や科学の進歩により、DX化、遠隔医療、ロボット技術、遺伝子診療など、医療の進歩はめざましく、当院としては、変化をおそれずに、患者ファーストの視点にて、よりよい医療を提供できる病院を常に目指していきます。今年も、患者様が温もりを感じるような厚生中央病院ならではの高齢者医療、病院機能の充実にて、職員一丸となって活発かつ健全な病院になるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

皆様方の素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



副院長 秋元 治朗

新年、あけましておめでとうございます。本年も厚生中央病院は全国土木の組合員の皆様および地域住民の皆様、安全で御納得いただける診療を心がけてゆきたいと思っております。

特に外科系診療におきましては、常勤医のほとんどが大学病院からの派遣医師であることから、各種診療ガイドラインを遵守しながら、日本の最先端の医療技術を提供できるものと確信しております。患者様の期待を裏切らない治療結果を示せることと思っております。

また、当院は目黒区内で最も救急車の受け入れ率が高い病院でもあります。かかりつけの患者様は勿論ですが、地域の方々の体調の急変に対しては、迅速かつ丁寧な診療、そして的確な説明と合意を得ることを基盤とした救急医療を推進して参ります。

本年も厚生中央に行けば安心と言っていただけ様、職員一同、自らを律し、患者様への思いやりを持てる様、努力してゆきたいと考えております。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



看護部長 影山 美子

新年あけましておめでとうございます。

皆様は、新しい年を迎えどのようにお過ごしでしょうか？

今年のお正月は、久しぶりにコロナに関する感染が緩和され、

以前と同じように過ごせるようになりました。

医療施設でも、一時期に比べて感染対策は緩和されてきましたが、高齢者や病気で治療中の方は、感染すると重症化しやすいので、現在も細心の注意を払って行動しています。

さて、コロナの感染拡大の最中、看護師たちは感染症から患者様を守るべく病棟や外来の消毒や清掃を繰り返し行ってきました。そして同時に、患者様の生活の場となる病室や病棟を、過ごしやすい環境にするにはどうしたらいいかを考え続けました。その結果、患者様の過ごしやすさの視点を取り入れ、昨年末には各病棟の個室や分娩室などをリニューアルすることができました。

フローレンス・ナイチンゲールは、感染症と闘い環境を整えることで患者様の回復を高めた人でした。私たちも、患者様が過ごしやすい環境とひとりひとりの声を大事にする看護をめざしていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長 五関 善成

新年あけましておめでとうございます。皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症発生から4年目になりますが、当院がい

ち早く目黒区内でコロナ患者の受け入れを表明してから、数多くの団体・企業様から多くのご支援をいただき大変助かりました。また患者様のご家族様からも温かいお声掛けをいただき感謝申し上げます。日々緊張した医療介護現場で働いている私たちにとって、この上ない励みになりました。お陰様で当院はその機能を低下させることなく、救急車受け入れ率は目黒区内1位を記録するなど、医療活動の提供を維持することができました。

今年は辰年です。登竜門という言葉が示す様に鯉が竜門を登り切って龍になったように、病院にとっても現在の医療を取り巻く厳しい環境を乗り越えることでさらなる飛躍につながる1年にしたいと思っております。皆様方と共に土建保および地域に頼られる病院として歩んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



事務部長 中島 善博

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、よき新春を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

当院では、2019年度から5か年間の大規模改修計画による建物、電気・空調・衛生設備等の改修工事が2024年をもって完了する予定です。これからも施設の安全性の確保と、より良い療養環境の提供を行って参ります。もうしばらくの間、皆様にはご不便等をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年は、アフターコロナにおける医療需要の変化が見込まれますが、地域医療に携わる病院として、近隣の医療機関の先生方、介護施設や在宅介護等に係る方々と顔の見える関係を築き、地域の医療ニーズに応じた病院となるよう職員が一丸となって取り組んでいく所存です。

本年も皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

診療科からの新年の抱負

総合内科

部長 小野 啓資

新年あけましておめでとうございます。2020年初頭から始まった、いわゆるコロナ禍もすでに4年近くが経過し、往時の猛威はやや静まり巷の活気も戻りつつありますが、まだ油断は禁物です。私共総合内科には、呼吸器内科、血液内科、神経内科、老年医療、救急医療など様々なスペシャリストが集まっていますが、専門に偏ることなく、患者様一人一人の身体的なお悩みや苦痛に真摯に向き合い対応すべく、他科と共同しながら今年も診療にベストを尽くす所存です。特に高齢の患者様につきましては、単に病状を改善させるだけでなく、退院後の生活に困る事がないように、リハビリテーション科や栄養科などと連携して日常生活動作（ADL）の向上に一層力を入れたいと考えております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

循環器内科

部長 五関 善成

謹んで新年の御慶びを申し上げます。今年には血管造影室も新しくなり3月から新規シネ装置が稼働します。今年も近隣の医療機関、施設の皆様方と協力して地域全体で1人の患者様を診て行く診療を心がけたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

消化器内科

統括部長 根本 夕夏子

「受診して良かった」と思って頂けるような診療科を目指しています。コロナ前よりも検査および治療件数が増えるようスタッフ一丸となって頑張ります。引き続き消化器疾患の救急受診も積極的に受け入れていきます。

消化器外科

統括部長 太田 喜洋

当科は高齢者を始め高リスクの患者様に対しても安心・安全な医療を提供して参ります。外科治療として食道から肛門までの消化器疾患に対して各領域の専門医が鏡視下・低侵襲手術を行い、緊急手術を要する患者様も24時間体制で受け入れております。

整形外科

統括部長 中山 隆之

2024年という新たな年を迎え、われわれは近隣医療機関の皆様からの日頃からのご支援に感謝を申し上げますと同時に、ご紹介をいただく患者様の受け入れがよりスムーズになるように受け入れ体制を強化したいと考えています。また、患者様からの信頼を大切にしつつ、より質の高い医療を提供できるように邁進いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

呼吸器乳腺外科

部長 岩淵 裕

当科は2024年後半には乳腺専門医が産休明けで復職する予定で、久しぶりに二人常勤の診療体系が確立します。それに伴い、乳腺科に特化した診療科として手術件数の増加や乳房再建術の新領域にも挑戦していく所存です。

産婦人科

部長 樋田 一英

厚生中央病院産婦人科では、麻酔科と協力して無痛分娩などを安全に行うことを目標にいたします。ハード面では、新たにLDRを開設し、また病室の改装もおこない、より快適な入院生活を提供できるようになったと思ひます。妊婦さんのご来院をお待ちしています。

小児科

医長 森下 那月美

発熱、鼻水、咳、腹痛、頭痛などの症状や、アレルギー相談、心身の発達相談など、どのような疑問も気軽ににご相談ください。お一人お一人と真摯に向き合い、丁寧な診察を心がけていきたいと思っております。

泌尿器科

医長 黄 和吉

結石や前立腺肥大症などの良性疾病を中心に、幅広く治療を行っており、最新式の内視鏡機器で低侵襲な手術を心がけております。今年も患者様一人一人のニーズに合った治療を一緒に考え、気軽に相談できるような温かみのある診療科を目指してまいります。

皮膚科

医長 山本 真実

皮膚疾患は見える部位であることからQOLの低下につながりやすいですが、患者様が困っていることや不安に思っていることを気軽に相談しやすいように、できるだけ丁寧な診察を心掛けて参りたいと思っております。

耳鼻咽喉科

医長 永井 賀子

地域の皆様の健康と笑顔のお役に立つことができるよう、患者様を快く迎え入れる診療体制を整え耳鼻咽喉科スタッフ一丸となって診療に取り組みたいと思ひます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

眼科

部長 森 秀樹

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中賜りました数々のご厚情とご支援に、眼科スタッフ一同心より御礼申し上げます。新たな年を迎えましたが、これまで以上に地域の皆様によりよい医療サービスの提供に努めてまいります。皆様にとりましても、本年が希望に満ちた年になることと切望しつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

脳神経外科

部長 秋元 治朗

本年も24時間、365日の神経救急に対応、脳腫瘍、脳血管障害、神経外傷などに、ガイドラインに準拠した最善の治療を提供したいと思っております。特に当科の得意分野である脳腫瘍、脳血管障害、顔面痙攣・三叉神経痛に対する治療の更なる洗練を目指してゆきます。

形成外科

医師 小宮 貴子

形成外科の立ち上げからまもなく1年が経ちます。けがやできもの、治りにくいキズ、ケロイドやキズあとの修正、乳房や乳頭乳輪の再建、まぶたのたるみの改善など、当科では皆様の生活の質を上げるお手伝いを致します。

精神科

医長 岩尾 紅子

他科受診中や入院中、不安や不眠、気持ちが辛いといった症状の対応を行います。常勤医1名、非常勤医2名体制で、全員精神科指定医です。また、非常勤臨床心理士も2名おり、カウンセリングや心理検査でもご活用ください。

麻酔科

部長 長澤 実佳

当院手術室では、年間3,000件の手術件数を目指しています。緊急手術もできる限り早急に対応できるよう日々努力を重ねています。また麻酔科外来で詳しい説明を行うことにより、安全な麻酔管理、患者様の満足度を高められるような麻酔管理を目指しています。また、無痛分娩をおこなっています。麻酔科医が管理することにより、産婦人科・助産師とも協力して安全で満足度の高い出産をお手伝いしていきます。

～当院における糖尿病医療の取り組み～

糖尿病看護認定看護師 大久保 直樹

皆さんは糖尿病に対しどのような印象をお持ちでしょうか？例えば、生活の不摂生や食事内容に問題があるとか・・・ではないでしょうか？確かにそれらの要因はあると思いますが、実際は原因不明の1型糖尿病や薬剤による糖尿病など成因（※1）は様々です。糖尿病と診断（※2）されると最初に眼・腎臓・神経障害の3点の糖尿病による合併症を評価しなければなりません。この3点に合併症が無ければ、血糖コントロールを中心に定期受診による治療を継続すれば良いでしょう。しかし、合併症がある場合は治療内容の複雑化や受診間隔が短くなり、受診する科も複雑になるケースが多いです。

糖尿病の自覚症状とは主に口渇、多飲、多尿、倦怠感、体重減少などが挙げられますが、特徴は自覚症状に乏しいという点です。健診で病院受診を勧められても自覚症状が乏しいため来院のタイミングが遅れてしまう患者様は少なくありません。

当院は糖尿病代謝内分泌分野専門の川島秀明医師を中心として薬剤師、栄養士、看護師でチームを作り糖尿病教育入院や外来での介入をしています。患者様の生活背景をしっかりと把握させて頂いた上で情報を共有し、個々のニーズに合う療養生活や治療法、食事・運動法などを提示し「糖尿病患者」という視点ではなく「日々を生きる生活者」として介入をしています。また、糖尿病看護認定看護師として血糖値という検査データ結果だけでなく「その人らしい人生」が送れるようサポートする事を心掛けています。

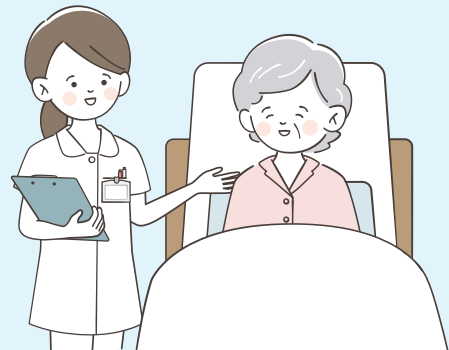
健診などで受診を勧められた、血糖値でのお困り事や御相談などあればお声掛け下さい。

※1 糖尿病と糖代謝異常の成因分類

- ①1型（自身のインスリン欠乏）
- ②2型（主に生活習慣が原因）
- ③その他特定の機序、疾患によるもの
（遺伝子異常、他の疾患から糖尿病を発症）
- ④妊娠糖尿病
（妊娠期間に食後の血糖が上昇。明らかな糖尿病は認めない）

※2 糖尿病型の判定

- ①早朝空腹時血糖値126mg/dl以上
- ②75g経口ブドウ糖負荷試験（75gOGTT）
2時間値200mg/dl以上
- ③随時血糖値200mg/dl以上
- ④HbA1c：6.5%以上



厚生中央病院 **さんま通信**

No.75 2024

発行元：総合病院 厚生中央病院 経営企画広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-4963
URL <https://www.kohseichuo.jp>

看護師等、随時募集しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。